

女性の活躍推進への取り組み

セコムでは、女性の職域拡大とリーダー育成に取り組んでおり、責任者を担う女性社員は着実に増えています。女性の社外取締役を交えた座談会も開催するなど、女性社員の意識改革とモチベーションの向上も進めています。

2023年4月、オンライン・セキュリティシステムの営業・業務・管理を担うセキュリティ事業所の責任者ポストに、複数の女性社員の登用が実現しました。

セキュリティ事業所を率いる女性支社長のうち2名に話を聞きました。



原美里社外取締役(前列左から2人目)を囲み、「女性社員キャリア座談会」を開催

渋江 真由美 大阪本部寝屋川支社長

支社長を拝命して4カ月が経ちますが、以前と比べてお客様と直接お会いする機会が増えました。女性の支社長に少し驚かれるお客様もいらっしゃいましたが、女性の活躍が少しずつ進んでいることに対して、温かい目で見守っていただいていると感じています。

セコムには、明るく心広やかに目的を達成する「豁达(フータ)」という組織風土があります。人の内面を育むことに重きを置くセコムの文化を継承していくことが、私たち先輩社員の使命だと感じています。私は、入社以来、周りの人たちに助けられて成長してきたので、一緒に働いている仲間を大切にしたいと心掛けています。いろいろな人がいることで物事が解決に向かうと考え、支社の仲間とよくコミュニケーションを取り、各自の考え方や、やり方を否定しないようにしています。

会社の環境も少しずつ整い、女性もチャレンジしたいことがあれば声を上げていけるようになってきました。私は、仕事でチャレンジして失敗したら、仕事で挽回すれば良いと思います。セコムはそれを受け入れてくれる懐の大きい会社だと思います。後輩には、女性ならではの視点を活かして活躍してほしいと期待しています。



鈴木 和子 東京本部練馬支社長

セコムは男性のイメージが強い会社ですので、女性の支社長が受け入れられるのが最初は不安でしたが、お客様のところへご訪問した際に、女性の方が話しやすいと仰っていただけたのが、とても嬉しく印象に残っています。

支社には約20名のスタッフがおりますので、気持ちよく働ける環境を作ることが大事だと思っています。どんなに気を付けていても、エラーをゼロにすることは難しいです。流れ作業で仕事をするのではなく、ルールがある理由を教えてミスを減らし、仕事の質を上げていく、また万一ミスをした際には、すぐに手を挙げられる環境を整えたいと思います。

女性の活躍推進への取り組みは着実に進展しており、会社が本気で取り組んでいる証だと思います。今後は各種制度の利用が、もっと広がることを期待しています。たとえば、育児休業や介護休業を利用する男性社員が増えてくると、仕事に対する新たな視点・考え方が芽生え、男性も女性もより働き続けやすい環境が整うと思います。

女性がキャリアを形成する上では、自分を犠牲にして頑張るのではなく、お互いが気持ちよく仕事ができるように、周囲の人たちと協力していくことが大事だと思います。

